

広報チームが行く！



鳴瀬川ダム協定書調印式 開催の巻



Vol. 16(2021/10/14)



国土交通省 東北地方整備局
鳴瀬川総合開発工事事務所

広報チームは、鳴瀬川総合開発事業及び関連する地域の情報を様々なメディアを活用し「親しみやすく」「わかりやすく」広報することを目的に令和2年6月に鳴瀬川総合開発工事事務所の職員で結成したチームです。

“鳴瀬川総合開発事業に伴う損失補償に関する協定書調印式”を執り行いました

令和3年9月25日(土)、やくらい文化センターにて鳴瀬川ダム補償対策地権者会連絡協議会と国土交通省は、鳴瀬川総合開発事業(鳴瀬川ダムの建設と漆沢ダムの洪水調節専用化)に必要となる土地等の取得に関し基準となる価格等に合意したので調印式を開催しました。

主な経緯

- | | |
|-------|---|
| 昭和59年 | つうまご
筒砂子ダム実施計画調査に着手(宮城県) |
| 平成元年 | 筒砂子ダム建設に着手(宮城県) |
| 平成4年 | 鳴瀬川総合開発事業に着手(東北地方整備局)
(鳴瀬川総合開発調査事務所を設置) |
| 平成25年 | ダム検証に係る対応方針決定(事業継続)
筒砂子ダム規模拡大と漆沢ダムの容量再編(宮城県から国へ移行) |
| 平成29年 | 調査段階から建設段階に移行、用地調査を開始(東北地方整備局)
(鳴瀬川総合開発調査事務所が工事事務所へ組織改変) |
| 令和2年 | ダム基本計画告示
(筒砂子ダムから鳴瀬川ダムに名称変更) |
| 令和2年～ | 損失補償に係る説明会開催 |
| 令和3年 | 損失補償基準についての説明会開催、鳴瀬川ダム補償対策地権者会
連絡協議会と合意
鳴瀬川総合開発事業に伴う損失の補償に関する協定締結 |

やくらい文化センター会場前



会場内の様子



式典中



協定書に署名する稲田局長と高橋地権者会長

調印式では、佐野宮城県副知事、猪股加美町長の立ち合いの下、鳴瀬川ダム補償対策地権者会連絡協議会の高橋会長と東北地方整備局の稲田局長が協定書に署名、捺印を行いました。



協定書を掲げる稲田局長と高橋地権者会長

当日は、地権者会役員をはじめ加美町関係者、そして宮城県並びに期成同盟会の関係者など約40余名の皆様にご出席頂きました。

鳴瀬川総合開発工事事務所では、今後、ダム建設地の土地所有者の方々と個別協議を進め、本格的なダム工事へと移行します。2036年度の完工に向けて、今後は用地補償や工事など新たな段階に向けて、事業に取り組んでいきます。

最後に・・・

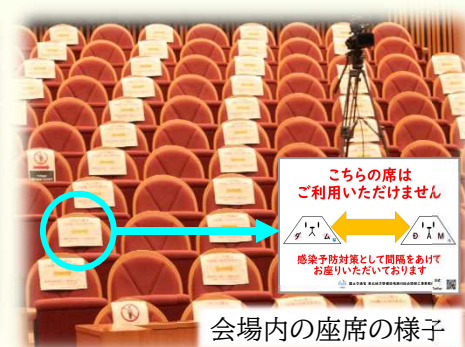


コロナ禍での式典となり、出席者の検温及び消毒、マイクの消毒や、パーテーションの交換など、感染対策を徹底し、安全な式典を心掛けました。

また、広報チームの取り組みとして会場内の写真撮影部隊や座席の貼紙デザイン、ロビーに広報紙の展示等により、式典参加者の方々に広報チームの活動を広められる良い機会となりました。



演台のパーテーション



会場内の座席の様子



ロビーの様子

今回は、鳴瀬川ダム協定書調印式を紹介しました。広報チームは、これからもいろんな事を発信し、事務所ホームページ、twitter等で広報していきます☆

twitter Youtube

